

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 10月 12日作成

研究課題名	大学病院における抗菌薬適正使用支援の評価研究
研究の対象	2017年4月1日から2020年3月31日までに横浜市立大学附属病院に入院中に抗菌薬適正使用支援チームが介入した方
研究目的 ・方法	<p>抗菌薬の適正使用は世界的な課題となっており、2014年の伊勢・志摩サミットでも取り上げられました。医師と薬剤師を中心とする抗菌薬の適正使用支援活動は病院内の抗菌薬使用量を減らすのみではなく、介入された患者さんの入院期間短縮、予後を改善したと言う報告もあります。2018年には医療保険の中で抗菌薬適正使用支援加算が認められることとなり、横浜市立大学附属病院においても2017年から抗菌薬適正使用支援活動を開始しました。2018年からは活動回数を週5日、2019年からは薬剤師を専従勤務としました。現在、日本の医療機関における抗菌薬適正使用支援活動が患者さんの転帰、抗菌薬の使用量等に与える影響を評価することが求められています。</p> <p>本研究では診療録から情報を収集します。この研究による追加の検査・処置や治療の変更（介入）はありません。対象となる患者さんの診療録から必要なデータを抽出しデータベースに登録し入退院歴から予後を解析します。</p>
研究期間	西暦 2020年 11月 11日 ～ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ul style="list-style-type: none">・患者情報（入退院歴）・病院内での抗菌薬の使用量、抗菌薬適正使用支援での抗菌薬推奨に対する主治医の受入率等も解析しますが、これらは病院の診療活動の一環として記録されており、新規に情報を収集することはありません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 感染制御部 （研究責任者）加藤 英明

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-786-3444